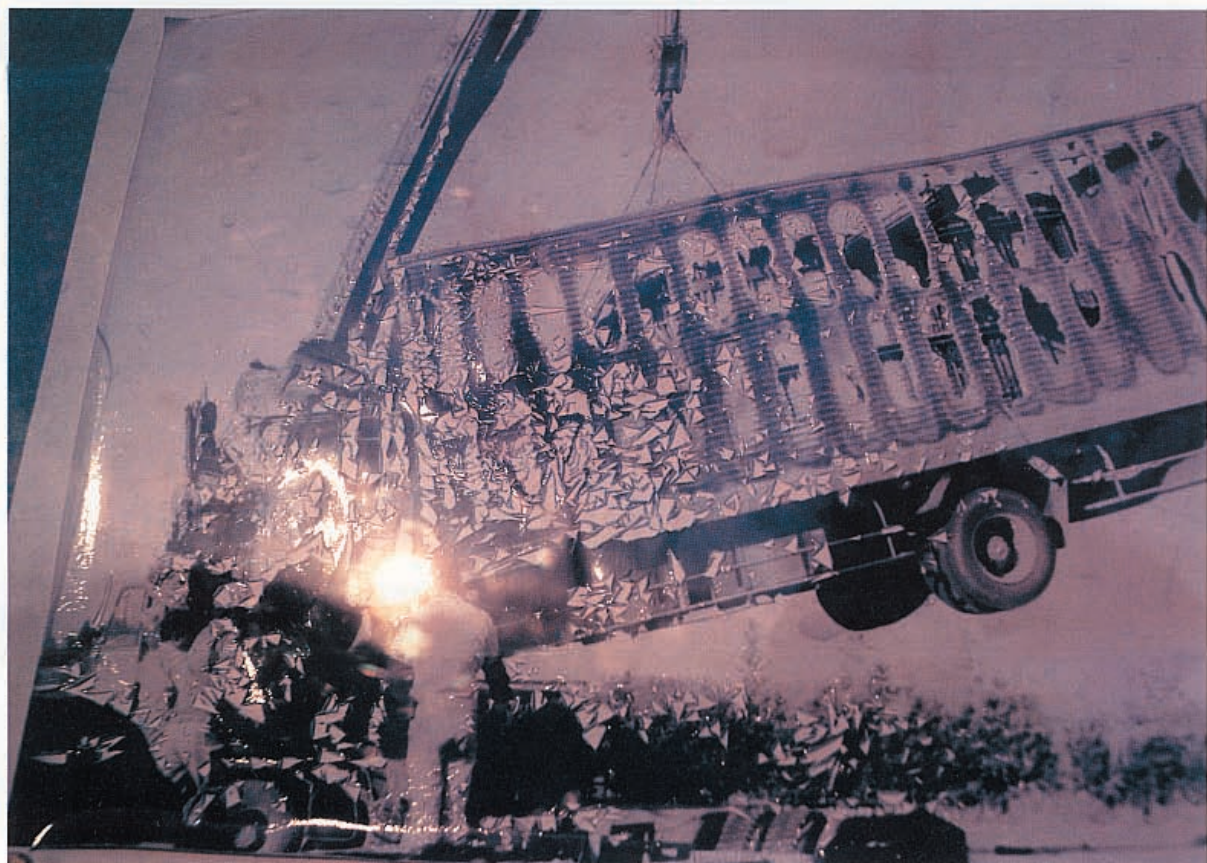


KIKUJI KAWADA

川田喜久治 top

※このファイルは 1998 年 P.G.I. Shibaura より出された P.G.I.LETTER177 を元に照井康文が製作しました。



川田 喜久治 作品展 カー・マニアック CAR MANIAC
11.9(mon) ~ 12.19(sat)1998

P.G.I. Shibaura





CAR MANIAC - 最後の車
川田喜久治

わたしは最後の車である。
三万個以上の部品が複雑に結びついていると、サイバーな感覚だが、そうではないように感じるときもあるのだ。天才の奏でるガルネリウスだって聞きたいし、血のような落日も見たい。

破滅的混雑を走り抜けると、雨と灼熱の路上。歓楽街の片隅。廃墟の地下。ある時など、電子部品が霧散するツンドラに、どこにいても、数え切れない時間をただ誰かを待っているのである。まだ、独りで走り出すことが出来ない以上、最後まで待つマシンなのだ。

夏も終わる夜、ホテルRの裏口にわたしはながく彼を待っていた。退屈もしていたし、考えるところがあった。頭に流れ込む電子ホルモン。彼が環境ホルモンに犯されているのは感じている。

バイクと一体のカメラマンたちを巻き込むように、ドアへ駆け込む愛しい王妃と褐色の男。わたしはすでに快音をたてていて、ヴァイラに向かう濡れた地下道を走っていた。皮シートが裂けるほど、愛欲の重量に女の長身が蛇のように絡んだとき、様子をのぞき込んでみた。アクセルを90度に踏みつける機械男。

すこし飛び跳ねなければならなかったが、一瞬にして、三万個の部品と男女がバラバラになり、新しいバロック・ユニットになった。サイバー音のきらめき。日輪が涙のなかで赤く見えたのはそのときである。

31 August 1998 Tokyo



P.G.I. Shibaura
東京都港区芝浦 4-12-32 〒 108-0023
月-土 11:00-18:00
第2・4土、日・祝日 休館
t:03 3455 7827 f:03 3455 8143
12月23日(水) - 1月6日(水) 冬季休館

川田喜久治作品集「世界劇場 The Globe Theater」
カタストロフ3部作
「ロス・カプリチオス」「ラスト・コスモロジー」「カー・マニアク」
を集成した待望の本格写真集同時出版。
500部限定
30×22cm、カラー、モノクロ、200項
価格¥20,000(税別)